



No.608A
N180

LA1463,1464

モノリシックリニア集積回路
カラーテレビ水平、垂直偏向回路用

◇ 半導体ニュース No.608A と同一です。

LA1463,1464 は 偏向用 IC として 基本的に必要な同期分離、水平発振、垂直発振等の主な機能に加え、バーストゲート および ペDESTALクランプ用パルスや プランキング用パルスの作成 さらにPAL用(LA1463)、NTSC用(LA1464)のそれぞれの方式に対応した水平位相補正、像曲り補正機能を内蔵した 多機能集積回路である。

機能 ・ノイズ消去 ・同期分離 ・AFC ・水平位相補正 ・比較ノコギリ波の作成
・水平発振 ・垂直ドライブ ・垂直発振 ・バーストゲートパルスの作成
・プランキングパルスの作成 ・X線保護

特長 ・映像プリアンプを内蔵しているため 同期分離が安定している。
・バーストゲート および ペDESTALクランプ用のパルスは 水平同期信号のパックポーチを正確に抜きとるとともに フライバックパルスでゲートされている。
・水平 および 垂直の発振回路は ウォームアップドリフトが小さく 電源電圧や周囲温度の変動に対して安定である。
・DC 帰還による 垂直出力段のバイアス制御は 帰還期間内のサンプリング制御であるため リニアリティやインターレースが良好である。
・水平のプランキングパルス幅は 外部定数によって設定できる。

最大定格/ $T_a=25^{\circ}\text{C}$

最大電源電圧

V_{12}, V_{24}

unit
V

許容消費電力

$P_{d\text{ max}}$

$T_a \leq 65^{\circ}\text{C}$

750

mW

動作周囲温度

T_{opg}

$-20 \sim +85$

$^{\circ}\text{C}$

保存周囲温度

T_{stg}

$-55 \sim +125$

$^{\circ}\text{C}$

動作特性/ $T_a=25^{\circ}\text{C}$

同期特性

プリアンプ利得

標準検波出力 $= 1V_{p-p}$

min typ max unit
15 dB

垂直特性

フリーラン周波数

f_v

標準 55 Hz

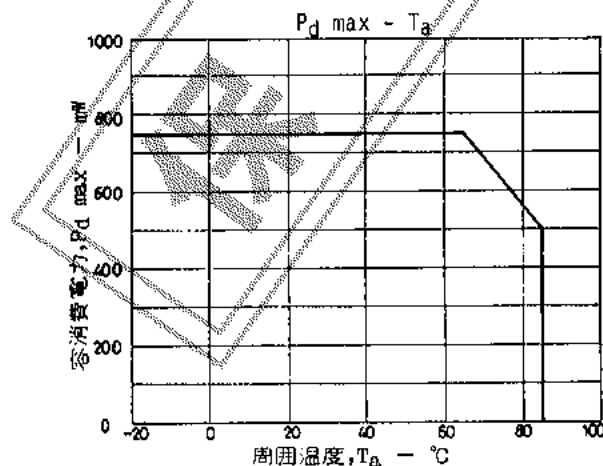
-5 +5 Hz

発振周波数の温度係数

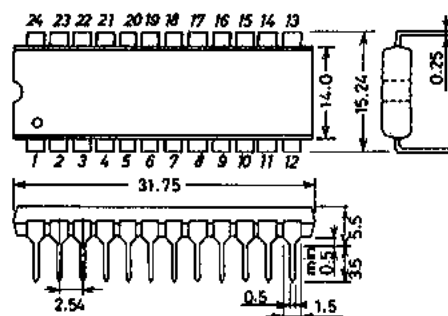
$T_a = -10 \sim +60^{\circ}\text{C}$

-0.015 +0.015 Hz/ $^{\circ}\text{C}$

次ページへ続く。



外形図 3011
(unit: mm)



次ページから続く

垂直特性

発振周波数の電源電圧依	$+V_{CC1} = 12 \pm 1V, f_v = 55Hz$	min	typ	max	unit
発振開始電圧		-0.7		+0.7	Hz
引き込み範囲	引き込み周波数=60Hz			4	V
		-8.5		-6.5	Hz

水平特性

フリーラン周波数	f_H	標準=15.734kHz	min	typ	max	unit
発振周波数の温度係数		$T_a = -10 \sim +60^\circ C$	-650		+650	Hz
発振周波数のウォームアップドリフト		5690~30m1n	-2.5		+4.0	Hz/°C
発振周波数の電源電圧依存		$+V_{CC2} = 12 \pm 1V, f_H = 15.734kHz$	-50		+80	Hz
発振開始電圧			-30		+30	Hz
引き込み範囲		引き込み周波数=15.734kHz			4	V
発振パルスデューティ				±380		Hz
				50		%

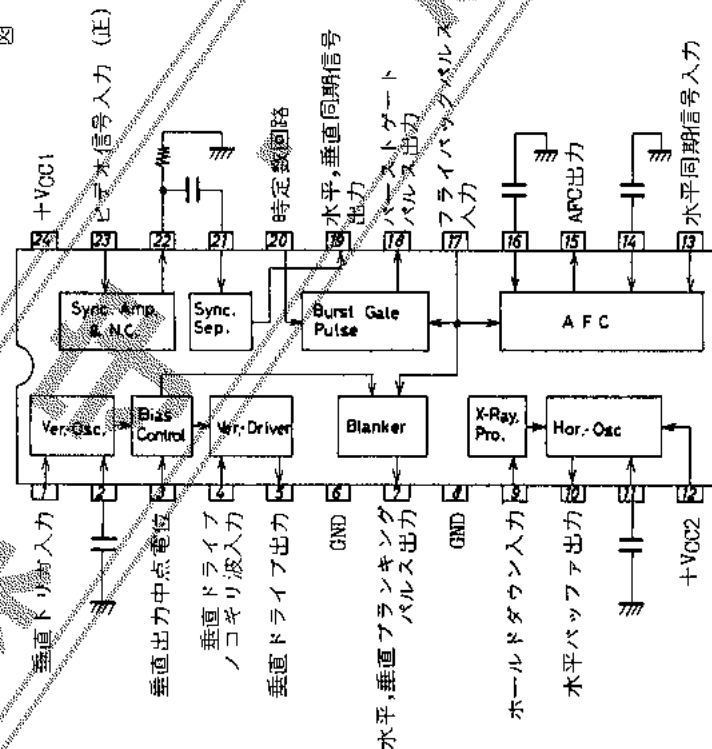
バーストゲート および ペDESTALクランプ用パルス特性

波高値	V_{BG}	同期信号の後縁を基準	min	typ	max	unit
パルス前縁遅れ時間			6.3		7.5	V
パルス後縁遅れ時間		//	3.4		4.0	μs

ブランキングパルス特性

波高値					12	V
垂直パルス幅		ランプ回路の帰線期間に対して	1.3			倍
水平パルス幅		フライバックパルス幅に同じ				

等価回路ブロック図



■ 应用回路例

